

令和三年度 「新しい国語」は、

学びやすく教えやすい教科書を追求しました

ポイント

1 主体的・対話的で深い学びを実現する紙面づくり



コトハ

三領域共通の学習の流れ

- 目標** 「目標」と「問いかけ」を確認し、見通しを持つ。「問いかけ」は、生徒の主体的な取り組みを促すために、やさしい文体に。
- 問いかけ**
- 言葉の力** 学習のポイントを「言葉の力」で確認。
- 振り返り** 「目標」や「言葉の力」を意識しながら振り返り、身につけた力を自分の言葉でまとめる。
- 対話** で学びを深める

書く「伝達」

郷土のよさを伝えよう
「地域の魅力」の紹介文

身近な地域に住む人々を対象に、話題の場所や食べ物、催し物、地域で活躍する人など、生活に密着した内容を伝える情報誌を、タウン誌とよぶ。

ここでは、タウン誌に載せる記事として、地域の魅力を紹介する文章を書いてみよう。記事を書くことを通して、多様な方法で材料を集め、より効果的に伝わる文章を書く力をつけよう。

目標

- 身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを絞り込む。
- 読み手を意識しながら、表現の効果を確かめて、文章を推敲する。

流れ

- 1 紹介したい内容を決定する
- 2 情報を集めて伝えたいことを絞り込む
- 3 文章の構成を考える
- 4 原稿を書き、推敲して仕上げる
- 5 完成した紹介文を読み合う

地域の魅力を伝えるために、どうやって材料を集め、効果的な文章を仕上げていったらいいんだろう。

書く「伝達」 郷土のよさを伝えよう

2 情報を集めて伝えたいことを絞り込む

紹介したいことについて、書くための材料となる情報を収集しよう。

情報を集めるには、どのような方法があるだろうか。例えば、紹介したい対象に関する本やパンフレットを開けば、文章や写真などを通して多くの情報を得ることができる。また、インターネットを利用して、最新の情報が手に入る。更に、実際に現地に行き、地元の人にインタビューすれば、紹介したい対象をより身近に感じられるような情報が集まるだろう。

情報を集めながら、伝えたいことを絞り、「地域の魅力」としてアピールしたい内容を考えよう。

言葉の力 情報を集める

- できるだけさまざまな資料（本、パンフレット、新聞、雑誌など）を当たり調べるように、書きたいことに関する情報を集める。
- 情報メモをするときは、その出典（題名、著者名、発行年月日など）も必ず記録する。
- インターネットの情報は、既記の記事などもあるため、本などに信頼できる情報かどうか注意する。
- 本当に信頼できる情報かどうか注意する。
- 人に余って話を聞きたい。疑問点や更に詳しく知りたいことを質問しながら、だいたい話を落とさず聞き取る。

3 文章の構成を考える

集めた情報の中から記事に必要なものを選び出し、文章の構成を考えよう。このとき、いろいろな情報をまとまりなく並べることのないように、書きたいことの中心をしっかりと意識したい。中心となる情報とそれに関連する情報を取り出し、読み手に伝わりやすいように構成を工夫しよう。

対話

「ケブルカー」が急いで、その傾斜角は日本一である。六分間での約百七十メートルの高落差を駆け上がる。戦国時代にここを支配していた武將が、山の森林伐採を禁止した。そのため、現在も自然が残り、植物の種類が豊富である。その茶屋にあるまんじゅうは行列ができる人気商品。ふんわりとした外の生地と、甘い塩味のあんが絶品のパナッス。ケブルカーの駅が歩いて三分の所に、この園がある。親戚も遊びに来たことがある。

近尾山について、本や雑誌、パンフレット調べた。さる園が特におもしろいから、この園をテーマに記事にしたいな。

インターネット調べてみた。新しい情報が入るんじゃないかな。

現地に行くと、すごく働いている人がインタビューできるといいね。

インタビューで聞いた話の例

さる園の飼育員・川口さんの話

「ここには七十頭ほどの狼がいます。個性派ぞろいの狼たちで、毎日いろいろな姿を見せています。狼の社会には上下関係があって、力の優劣で上下関係が決まりますが、その頂点にいるのがボス狼です。ある日に体の大きな狼がいますね、あれがボスです。餌があるとき、一番に手を出し、周りは遠慮しています。威嚇しているのを見ますが、ボスになるには、力が強いだけではだめなんです。やっぱり仲間を助けてやること、これがいい。例えばある日、ボスが驚くべき行動を……」

伝えたい内容を整理し、構成を考えたい例

構成	内容
導入	・さる園の紹介
本文①	・狼の社会の上下関係
本文②	・どんな狼がボスになるのか
本文③	・飼育員の川口さんへのインタビュー
本文④	・ボスが子供を助けたエピソード
結び	・未園のお誘い

書く「伝達」 郷土のよさを伝えよう

4 原稿を書き、推敲して仕上げる

読み手にとって分かりやすく、興味深い記事になるように考えながら、下書きをしよう。

下書きを終えたら、更に効果的に伝わるように推敲し、記事を仕上げよう。下書きをグループで読み合ったり、気に入ったことを指し合い、推敲の参考にするのもよい。

言葉の力 より効果的に伝えるように推敲する

- 読み手や目的を考えて、不要な情報は削除する。
- 順序を入れ替えたほうがよいかどうかを確かめる。
- 興味をひく書きたし、言葉の選び方、臨場感のある描写、会話文の使用、文末表現の仕方など、表現を工夫する。
- 読み手の興味・関心をひく見出しをつける。

対話

近尾山の中腹には、さる園がある。傾斜角が日本一のケブルカーの駅が、歩いて三分の所にいる。ここには、約七十頭の狼がいて、どの個も個性豊かで、とても小さい。好きなものは、パナッスだ。

川口さんの話によると、電気柵のある制限された園には、ボスが助け出したことがあったそうだ。……

さる園について、本や雑誌、パンフレット調べた。さる園が特におもしろいから、この園をテーマに記事にしたいな。

インターネット調べてみた。新しい情報が入るんじゃないかな。

現地に行くと、すごく働いている人がインタビューできるといいね。

さる園の様子を、臨場感のある描写で表現した。狼たちの様子を、臨場感のある描写で表現した。狼たちの様子を、臨場感のある描写で表現した。狼たちの様子を、臨場感のある描写で表現した。

対話

近尾山のさる園—ボスの驚くべき行動

ケブルカーを降りて五分。近尾山の中腹に、さる園がある。個性派ぞろいの約七十頭が、かわいさを見せてくれる。狼の社会には上下関係があるというところを存じたい。うーん、さる園の強い狼がボスとよばれ、その頂点に立っている。しかし、ボスになるには、力が強いだけではなく、もっと大きな理由がある。……

「ある日、ボスが驚くべき行動をしたことがありました。」と飼育員の川口さんが話してくれた。その園の向こうの隙間に、子供がボスが助けた。電気柵が危険だということ、ボスも知っている。だから、逃げて見守ることしかできなかった。

「そのときです。なんとボスが飛び出してきたのです。」ボスは電気柵の隙間を風のように通り抜けると、子供を抱え、再び戻ってきた。まさに助けの行動だった。仲間を思いやり、勇気ある行動をしてくれるのが、ほかの狼たちから尊敬される理由だ。

近尾山のボス、ぜひ、さる園でその勇姿を覗いてほしい。

書く「伝達」 郷土のよさを伝えよう

5 完成した紹介文を読み合う

記事を書きあげたら、グループやクラスで読み合い、感想を伝え合おう。それぞれが書いた記事を、グループやクラスでまとめ、冊子のタウン誌にするのもよい。

振り返り

材料を集め、効果的に伝える紹介文を書く学習を通して、どんな力が身についたか、その力をこれからの学習や生活でどう生かしていきたいかをまとめよう。

余話文の描写を取り入れて、さる園の様子を書き出した。自分の経験を伝える文章や、物語を書くときにも生かせるかな。

手順と具体例が対応

上段は学習手順

下段は具体例

書く「伝達」 郷土のよさを伝えよう

完成作品例

近尾山の中腹には、さる園がある。傾斜角が日本一のケブルカーの駅が、歩いて三分の所にいる。ここには、約七十頭の狼がいて、どの個も個性豊かで、とても小さい。好きなものは、パナッスだ。

川口さんの話によると、電気柵のある制限された園には、ボスが助け出したことがあったそうだ。……

さる園について、本や雑誌、パンフレット調べた。さる園が特におもしろいから、この園をテーマに記事にしたいな。

インターネット調べてみた。新しい情報が入るんじゃないかな。

現地に行くと、すごく働いている人がインタビューできるといいね。

さる園の様子を、臨場感のある描写で表現した。狼たちの様子を、臨場感のある描写で表現した。狼たちの様子を、臨場感のある描写で表現した。狼たちの様子を、臨場感のある描写で表現した。

対話

近尾山のさる園—ボスの驚くべき行動

ケブルカーを降りて五分。近尾山の中腹に、さる園がある。個性派ぞろいの約七十頭が、かわいさを見せてくれる。狼の社会には上下関係があるというところを存じたい。うーん、さる園の強い狼がボスとよばれ、その頂点に立っている。しかし、ボスになるには、力が強いだけではなく、もっと大きな理由がある。……

「ある日、ボスが驚くべき行動をしたことがありました。」と飼育員の川口さんが話してくれた。その園の向こうの隙間に、子供がボスが助けた。電気柵が危険だということ、ボスも知っている。だから、逃げて見守ることしかできなかった。

「そのときです。なんとボスが飛び出してきたのです。」ボスは電気柵の隙間を風のように通り抜けると、子供を抱え、再び戻ってきた。まさに助けの行動だった。仲間を思いやり、勇気ある行動をしてくれるのが、ほかの狼たちから尊敬される理由だ。

近尾山のボス、ぜひ、さる園でその勇姿を覗いてほしい。



